

ゆりかご 第21号

発行者：小千谷市第2地区民生委員児童委員協議会 会長 小川恭男

《活動を振り返って》

第2地区民生委員児童委員協議会 副会長 石原 十八

新旧委員交代から2年目、新型コロナウイルスの分類が5類に引き下げられましたが、まだ終息した訳ではありません。インフルエンザ、手足口病等々その他の感染症が例年になく多く発生し、油断を許さない時期もありました。

当地区では一昨年の一斉改選で新任民生児童委員2名を含む18名で活動を続けてまいりました。その後うち1名が家庭の事情等により退任されることになり後任の人選については町内会長よりご尽力を頂き空白なく今日に至って居ります。

来年度は一斉改選の年です。民生児童委員は地域にとって決して空白にできない大切な存在だと思います。委員人選がスムーズに行くことを願っています。

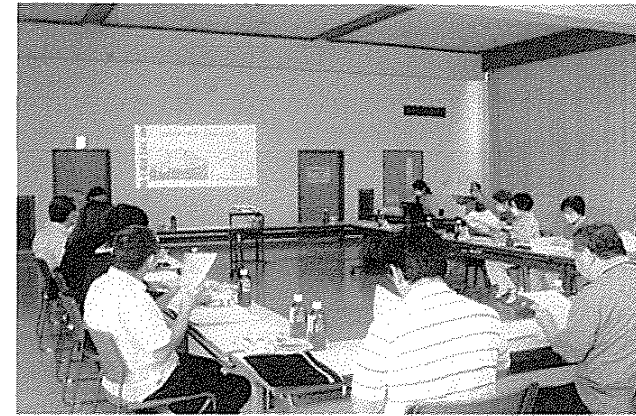
5月定例会に於いて、地域支え合い活動について研修を行いました。

第二層生活支援コーディネーターより、現状と課題についてお話をいただき、担当地域の現状を踏まえた話し合いをしてきましたが、東小千谷全体を見たら何ら変わらないのが現状でした。住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるために、地域での支え合い、向こう三軒両どなり {お〜いなじだね} と気軽に声かけ、(ちょこっと)した困りごとを助けられる雰囲気づくり、そんな町内になることを願っています。

担当地域(木津町)においては、福祉活動、町内の諸行事もコロナ禍前に戻り盆踊り、夏祭り(案山子祭り・花火大会)小千谷祭り万灯パレードの参加と町内役員を中心とした各世代間交流が出来た年でした。

今年後半の主な活動

- 6月
 - ・東小千谷、東山地区担当保健師との交流(情報交換が主)
 - ・町内会長協議会と民生児童委員懇談会
 - 主な研修内容
 - ・空き家活用について (にぎわい交流課担当者)
 - ・一斉改選に向けて委員人選について (会長より)
- 7月
 - ・研修 救急救命 (消防署)
- 7月～11月
 - ・担当地域の保育園、幼稚園、小中学校訪問活動
- 10月
 - ・除雪援助等研修後一泊研修
- 1月
 - ・高齢者施設ケアマネジャー・ヘルパーとの交流会



東小千谷・東山担当保健師との交流会



救急救命講習会



東山小学校訪問



町内会長協議会と懇談会



ひばり認定こども園訪問 園長先生と一緒に

【活動状況や感想】

高齢者福祉部会の研修に参加して

椿 伸子

7月3日高齢者部会の研修で西小千谷地区の配食サービスの現場へお邪魔し、調理の様子と配達ボランティアの方の話を聞きました。

限られた時間内で多くの弁当を15人程のボランティアの方が手際良く作っていて感心しました。コロナも「第5類」となりましたがコロナが消え去った訳でもなく感染力が強い事には変わりはないし、連日の暑さの中での作業も大変だと思いました。見学の後、社協の方より今の現況や課題など聞き、作り立ての弁当を頂いて研修を終わりました。

私も配達ボランティアです。皆さんの様子を拝見し敬意を払い配達しなくてはと思いました。

民生委員児童委員になって

瀧澤 久美子

前任の国松さんより引き継ぎ、今年4月1日から民生児童委員をさせて頂いています。

委嘱後間もなく、高齢者現況調査があり正直自分でいいのかと自問自答しながらの訪問でした。私の住む団地内にも高齢者のお宅が増えてきている事を知り、今は元気にされていますが見守りの大切さを感じます。

定例会や研修会で今は話を聞くだけで精一杯ですが、民生児童委員の皆さんと一緒に活動できる喜びを感じています。

まだまだ分からないことばかりですが、いろいろ教えて頂きたいと思います。よろしくお願い致します。

民生委員児童委員になって

長谷川 英一

以前はコロナ禍の中で安否確認に、大変なこともありました。対象者の顔が見えない状態、行政との連絡も思う様にいかない時もありました。今ではコロナも少し落ち着き、5類扱いになり本来の姿に戻りつつあります。その間にも高齢化は進み認知症の方も増えてきてデイサービス、要支援、要介護など個々に私たちの知らないうちに施設や病院などに入所入院も多くなりその後コロナで亡くなる方もあります。又亡くなってもあまり個人情報が入りにくい状態になってきている様です。

高齢者二人暮らし、一人暮らし、日中一人暮らしの方々のご近所さんの力添えがあれば良いのではないのでしょうか。

児童の方はコロナ禍の影響を受けて家でゲーム、ケイタイ等に時間を取る機会が多くみられ今でもそれが続いている様な気がします。また地区PTAに参加して、ラジオ体操に参加し保護者と子供たちの顔も分かる様になりました。これからも児童に接する機会が増えるいろいろな行事に参加していきたいと思います。

2期目の今思うこと

鈴木 佳代子

私は担当のお年寄りのお話をちゃんと聴けている？最近の私は自分事が忙しく訪問数が増えていません。先日も町内の福祉委員と手分けして訪問する予定だったのに都合が合わずお任せしてしまいました。この件により改めて考えるきっかけになり反省しました。もっと自分から訪問してお話を聴き、困り事が大きくなる前に気づいてあげられる様になりたいと考えました。

町内会長はじめ町内の福祉委員の皆さんもフォローして下さっているので感謝の気持ちを忘れず皆さんと協力して地域のお年寄りを見守っていきたいと考えています。

3年間振り返って

廣井 直樹

担当地域は山間地で、高齢者世帯のひとり暮らしの割合が多く、子供のいる世帯は二世帯です。

春から秋の季節はとても住みやすい所ですが、冬期間になりますと平場の何倍も多くの雪が降り、高齢者世帯には、除雪が重労働になります。屋根除雪は、市の援助が有りますが、玄関から道路、窓などの除雪は個人でやらなければなりません。

これから高齢者世帯が増えるばかりなので除雪に限らず、小さい事から寄り添えればと思います。

私自身まだ見守り訪問時に話を聞く事しかできていません。

保育園・認定こども園・小中学校訪問

廣井 望美

主任児童委員に就いて5年。3年の新型コロナ禍で保育園・認定こども園・小中学への訪問活動は制限されていましたが、現在は入学式や学習参観等訪問ができ、園児・児童の様子を見ることが増えました。

仕事柄、東山小学校へ訪問し先生方と顔を合わせることもあり、また地域行事で児童に合うこともあるので、顔を覚えてくれてる子が多く私自身うれしいです。ただ未就学児の子とは中々会う機会がないので、年1回の保育園・認定こども園の訪問では、東山の園児を探すのが密かな楽しみになっています。

